

NPO法人eboard (兵庫県西宮市)

1人1台で学ぶアフターコロナ、学びづらい子の教育機会を保障するやさしい字幕プロジェクト

【取組内容】



- **聴覚や発達の障害を持った子、外国につながる子など計7万人以上**を主な対象に、義務教育をカバーする1,900本の映像授業に字幕を追加。国内で唯一、字幕により機会保障がなされた映像教材が誕生。
- 現在は、字幕を必要とする子どもたちを含む、**毎月20万人以上がICT教材サイトeboardを利用**。映像教材はインターネット上で誰でも無料で利用可能。
- 子どもたちの言葉の発達度合いを考慮し、**学習が容易になるような「やさしい字幕」**を制作。字幕制作には、**16の企業・団体、個人の在宅ボランティア1,000名以上が参加**。

【評価ポイント】

- コロナ禍で急変した学習方法に取り残されがちな子どもに学習機会を保障する「誰一人取り残さない」教育を実践。

SDGs実施指針における実施原則 (本アワード評価基準)

普遍性	聴覚や発達の障害を持った子、外国につながる子など計7万人を含めたすべての子どもに学習環境を届けようとする取組。
包摂性	すべての映像授業と字幕は、無料でインターネット上に公開しており、誰でも視聴可能で、様々な人に学習機会を提供している。
参画型	字幕の制作には、高校生や聴覚障害者、外国人留学生を含め、16の企業・団体、個人のボランティア1,000名以上が参加。
統合性	ろう児の日本語能力向上や外国につながる子の教育環境改善は、ひいては、彼らの社会・経済活動の参加にも貢献。
透明性と説明責任	ボランティアの8割が事前説明会に参加し、活動趣旨を理解。活動後もメール、イベント等で進捗を報告。

